



150

青森りんご植栽150周年

# 農業ひろさき

2025年3月1日 (第229号)  
(令和7年3月1日)

編集と発行：弘前市農業委員会

弘前市大字上白銀町1-1 前川本館3階 電話0172-40-7104

弘前市ホームページ  
農業情報はこちらから

## 農業後継者りんご整枝せん定競技会

市農業委員会主催の令和6年度農業後継者りんご整枝せん定競技会が、1月22日に市りんご公園で開催されました。

この競技会は、せん定技術の向上と参加者同士の交流を目的に毎年開催しているもので、市内に在住または市内でりんごを栽培した経験が3年以上の生産者、団体7組・21人と個人参加3人の計24人が参加しました。

青森県りんご協会の竹内謙一審査委員長による模範せん定の後、参加者は割り当てられた樹をせん定する実技試験と、りんごに関する知識を問う筆記試験に真剣な表情で取り組んでいました。

また、当日はせん定した枝を処理するための無煙炭化器の活用についての講習・実演も行われました。

競技会結果は以下のとおりです（敬称略）

◆弘前市長賞（優勝）

○団体の部：チーム プロテイン

○個人の部：神 翔（個人）

◆青森県りんご協会会長賞（準優勝）

○団体の部：相馬農業青年の会B

○個人の部：久米 徹（個人）

◆弘前市農業委員会会長賞（第3位）

○団体の部：RED APPLE

○個人の部：小館 佳史（チーム プロテイン）



団体の部 優勝



チーム プロテイン

小館 佳史、宮本 理恵、福井 皓太

団体の部 準優勝



相馬農業青年の会 B

三上 拓哉、三上 慧、三上 聖也

団体の部 第3位



RED APPLE

畠山 健一、平山 慎、金澤 康太

個 人 の 部



優 勝 神 翔(中)

準優勝 久米 徹(左)

第3位 小館 佳史(右)

## 雪害防止対策に努めましょう！

3月以降の雪害対策について、下記を参考に被害の防止に努めてください。また、作業中の事故にも十分な注意をお願いします。

■りんご

- 園地内の作業道を確保し、雪が新しく軽いうちに、樹の雪下ろしを行う。
- 雪に埋もれた枝先は、抜き上げる。
- 傷口や切り落とした部分は塗布剤で保護する。
- 根元の雪は溶けやすく、野ネズミに加害されやすいので、数回踏み固めておく。

■農業用ハウス

- ハウスが倒壊または破損している場合は、雪解け後、速やかに補修し保温に努める。また、農業共済に加入しているハウスは、農業共済組合と連携を密にして早期の復旧に努める。
- ハウス周辺に残雪が多い場合は、天候の良い日に融雪剤を散布して早期の雪解けを促す。

■問い合わせ先

りんご課生産振興係（市役所前川本館3階）

☎ 40-7105

農政課農産係（市役所前川本館3階）

☎ 40-4356

## （生産者の皆さまへのお願い） りんご樹の雪害の記録を整備しましょう

令和6年12月末からの大雪により、今後、自治体等がりんご樹の雪害に対する支援策を講じる場合、被害を証明する写真が必要となる可能性がありますので、被害状況がはっきりとわかるように、りんごの樹を可能な限り一本ずつ写真撮影し、雪害の記録として保管してください。

写真撮影の例は  
こちら



■問い合わせ先

りんご課企画推進係（市役所前川本館3階）

☎ 40-0482

## りんご園地雪害対策融雪剤・塗布剤購入費助成金

市では現在、今冬の豪雪により発生しているりんご樹等の幹割れや枝折れ被害の拡大防止に必要な融雪剤、塗布剤の購入助成を実施しております。

### ◆助成率

融雪剤 1／3 (上限: 480円／10アール)

塗布剤 1／3 (上限: 540円／10アール)

雪害による被害を最小限に留めるため、助成金の活用をご検討いただき、各販売店、農業協同組合等へ購入をお申し込みください。なお、事業申請等の詳細につきましては、市ホームページ(二次元コード)をご確認ください。

### ■問い合わせ先 りんご課生産振興係

(市役所前川本館3階) ☎ 40-7105



## 第4回新規就農こみゅねっとわ～くを開催しました!

市農政課が1月23日に市民会館大会議室で開催した「新規就農こみゅねっとわ～く」には16人が参加しました。

第一部のゲストトークでは、伊東竜太氏(ぶどう・せり生産者)と小山智也氏(ミニトマト・スナップエンドウ生産者)から、「就農時に農地を探すために市内を走り回り、飛び込みで近隣の方に声をかけた」という苦労話や、「農業経営を行なう上で、人との繋がりが大切」といったアドバイスが語られ、参加者は熱心に耳を傾けていました。

第二部のワークショップでは、5～6人のグループで自由にアイデアを出して1枚のマンダラチャート(農業経営の目標や課題を整理するシート)を作成し、「希少価値の高い『フィンガーライム』を作付し、世界に向けて情報発信したい」など、各グループで活発な議論が行われていました。



ワークショップの様子

## 全国の自治体として初! ノウフク・アワード2024 優秀賞を受賞しました!

市では、農業分野における新たな働き手の確保につながるだけでなく、障がい者等の就労や生きがいづくりの場を生み出すことが期待できる「農福連携」を推進しています。

このたび、農林水産省をはじめとする関係省庁等が実施する「ノウフク・アワード2024」の優秀賞を全国の自治体として初めて受賞しました。



(写真左) 農福連携等応援コンソーシアム皆川会長  
(写真右) ノウフクアンバサダー城島茂氏

## 農業委員会総会・合同研修会



合同研修会の様子

市農業委員会(成田繁則会長)は1月27日、農業委員会定例総会を開催しました。農地利用最適化推進委員が傍聴する中、農業委員が農地の売買や貸借等に関する議案をはじめ、令和7年農作業臨時雇用標準賃金などについての審議を行いました。

総会後の農業委員と農地利用最適化推進委員による合同研修会では、(一社)青森県農業会議職員を講師に、農業者年金の優位性についての講演が行われ、iDeCoやNISAとの違いについて説明を受けました。参加した委員は、加入推進活動に役立てようと保険料制度などについて質疑を交わしました。

また、市りんご課職員から、りんご放任園の解消について、これまでの進捗状況や課題点について説明を受けるとともに、早期の放任園解消に向けた今後の取り組みについて意見を交わしました。

## 令和7年 農作業臨時雇用標準賃金

市農業委員会では、令和7年の農作業臨時雇用標準賃金について、下表のとおり定めました。

作業員の臨時雇用や農作業を委託する場合に、農業者の皆さんのお手本にしてもらうため毎年設定しているもので、当事者間で賃金を取り決める際の参考としてご利用ください。

	作業名	単位	金額(円)	備考
雇用賃金	田植え	1時間	1,100	まかない 抜き
	稲刈り		1,100	
	整枝せん定		1,500	
	人工授粉		1,000	
	摘花・摘果		1,000	
	袋かけ		1,000	
	除袋・葉とり・収穫		1,000	
	農作業一般		1,100	
オペレーター	トラクター	1時間	1,200	まかない 抜き
	乗用田植機		1,300	
	コンバイン		1,300	
	スピードスプレヤー		1,300	
請負料金	水田耕起	10a	5,500	機械・運転手付き まかない 抜き
	畑耕起		6,000	
	荒かきのみ (又は、代かきのみ)		5,700	
	荒代かき		7,100	
	田苗なし		6,700	
	植稚苗付き		19,500	
	機械・運転手付き まかない 抜き		27,800	
	中苗付き		16,700	
	コンバイン乾燥なし		28,900	
	乾燥まで		4,800	
	ロールベーラー(糸あり)		1,500	生脱穀
	乾燥機		7,500	薬剤費別
	スピードスプレヤー		1,000ℓ	

地域ぐるみで交信橿乱剤コントローラーを設置しましょう!

令和7年産は更なる連携強化を！

## 市改植事業【新メニューを追加します】

### ①<混植用苗木の購入補助（結実確保対策）>

昨年のマメコバチの活動低下などによるカラマツ被害を受け、受粉しやすい園地環境にするための対策として、授粉樹や混植用として植栽する苗木の購入経費の一部を補助します。

（既存園地又は市改植事業により改植・新植を行う場合も該当）

#### ◆補助対象者 市内の農家又は農地所有適格法人

◆補助対象経費 授粉樹及び混植用の苗木代（王林、シナノゴールド、つがる、華宝、世界一、紅玉、メイポール等）

◆補助額 補助対象経費の1／3以内（上限額700円／本・120本／人）

※補助対象経費の実費に1／3を乗じて得た額、もしくは補助対象額のいずれか少ない額以内の額。

■問い合わせ先 りんご課生産振興係（市役所前川本館3階）☎ 40-7105



### ②<新たな省力樹形の研究事業（チャレンジ枠）>

高密植栽培等の普及拡大に向けて、新たな栽培方法による省力樹形の効果を検証するためにかかる導入経費の一部を補助します。

#### ◆補助対象者 市内の農業者又は農地所有適格法人等

◆補助対象経費 新たな栽培方法による省力樹形の導入にかかる費用

◆補助額 補助対象経費の1／2以内（上限額50万円）

※募集要件については市ホームページ（二次元コード）をご確認いただき、りんご課へお問い合わせください。

※本内容は令和7年度予算に基づくものであり、

予算の成立をもって実施することとなりますので、今後内容等に変更が生じる場合があります。

## 弘前市土地改良事業等補助金について

市農村整備課では、下表の補助事業を実施しております。下表に記載されている補助事業の詳しい内容を知りたい方、事業の活用をお考えの方は、問い合わせ先へご連絡ください。

事業名	主な事業内容	主な採択基準	補助率
かんがい排水事業	農業用排水路などの新設または改修事業	・受益面積20ha以上 ・事業費10万円以上	50%以内
小規模農道整備事業	農道等に舗装（コンクリートまたはアスファルト）を行う事業	・受益面積20ha以上 ・延長50m以上 ・幅員2m以上	55%以内
	農道等の舗装補修を行う事業（穴埋めなどの簡易な補修は除く。）	・受益面積20ha以上 ・事業費10万円以上	45%以内
	農道に砂利を敷く事業	・受益面積20ha以上 ・延長50m以上 ・厚さ10cm以上 ・幅員2m以上	35%以内
農業用安全施設整備事業	農業用施設で転落事故などの危険性が高い箇所に安全施設を設置する事業	・受益面積20ha以上 ・事業費10万円以上	40%以内

※左記各種事業の補助対象者

(1) 土地改良区

(2) 農業協同組合

(3) 共同施行者（当該事業を共同で行う、数人の者で構成）

### ■問い合わせ先

農村整備課農村整備係  
(市役所前川本館3階)



☎ 40-2955

## 令和7年度弘前市農作業省力化・効率化対策事業費補助金（通常タイプ）

市では、農業者が農作業の省力化・効率化を図るために取組を支援します。

### ◆公募期間 3月21日（金）～4月11日（金）

◆対象者 市内農業者、市内に本店を有する農業法人、市内農業者等で組織する団体

### ◆事業内容と補助対象経費

①農業機械導入…農業経営に要する機械の導入にかかる経費（1台分、本体付属のオプション等は用途が増えない範囲で可）

②農業用ハウス整備…農業用ハウスの整備にかかる経費（1棟分）

③集出荷環境整備…ほ場内での荷さばき場や作業道の整備にかかる経費（1か所分）

◆補助率・補助上限額 補助対象経費の実支出額（税抜き）の3分の1に相当する額以内（上限…①・②=50万円／③=23万円）

※【優遇措置】認定新規就農者、又は遊休農地を令和6年度に解消した者、もしくは令和7年内に解消する予定の者は、補助対象経費の実支出額（税抜き）の2分の1に相当する額以内（上限…①・②=100万円／③=40万円）

◆その他 項目（認定農業者、認定新規就農者、青色申告を実施している者、収入保険制度加入者ほか）ごとにポイントを設定し、より多くのポイントを獲得した応募者から採択します。ポイントの合計点が2以下の場合、応募できません。提出書類及び詳しい要件などについては、市ホームページ（二次元コード）をご確認ください。

※本内容は令和7年度予算案に基づくものであり、予算の成立をもって実施することとなりますので、今後内容等に変更が生じる場合があります。

※水田農業に利用するスマート農業機械の導入経費の一部を支援する同事業（水田スマート農業推進タイプ）については後日改めてお知らせします。

### ■問い合わせ・応募先 農政課（市役所前川本館3階）

①・③の事業については 農地支援係 ☎ 40-0656

②の事業については 農産係 ☎ 40-0504



## 『弘前産りんごPRキャラバン』

弘前りんごの会(会長・櫻田宏市長)では、昨年10月から「パワーアップ!弘前産りんごPRキャラバン2024」を実施し、弘前産りんごの魅力を全国に発信しました。

今年度は14エリアのスーパーで、弘前産りんごを販売する「アップルウィーク」を実施し、キャンペーンガールのりんご娘も静岡エリアを皮切りに、令和6年産りんごのおいしさを多くの消費者に伝えるとともに、「りんごのまち 弘前」の知名度アップと弘前産りんごの消費拡大に努めました。



## 「雇用就農資金」事業説明会

全国農業会議所では、原則49歳以下の就農希望者を新たに雇用し、通年で農業就業又は独立就農に必要な技術・経営ノウハウ等を習得させるための研修を実施する農業者等に対して、「雇用就農資金」を交付しています。

令和7年度事業の第1回募集に向けて事業説明会を開催します。個別相談も受け付けますので、雇用就農資金の活用を検討している方は、ぜひご参加ください。

- ◆対象 「雇用就農資金」の活用を検討している方
- ◆日時 3月11日(火)午後2時
- ◆場所 弘前市役所岩木庁舎2階 会議室1
- ◆内容 雇用就農資金の説明など
- ◆定員 15名
- ◆申込期限 3月7日(金)  
※事前申込みが必要です。
- ◆参加費 無料
- 問い合わせ先 農政課扱い手育成係(市役所前川本館3階) ☎40-0767



Webページ

## 農振除外申出4月30日締切 農地転用、その前に・・・

市では、農業振興のために利用・保全すべき土地を、『農用地区域』として設定しています。この区域内の農用地を住宅用地や農業用施設用地(倉庫、資材置き場など)といった耕作以外の目的で使用する場合は、市が設定している区域から除外するなどの手続きが必要となります。

4月30日を過ぎますと、次回分は、7月31日が締切となる予定です。また、令和7年4月から、農振の手続きと並行して、地域計画からの除外の手続きも必要となります。

なお、受付・相談は、農用地の所在する各地区的担当課窓口で行っています。

### ■問い合わせ先

- 【弘前地区】農政課農地支援係(市役所前川本館3階)  
☎40-0656
- 【岩木地区】総務課農林係(岩木庁舎1階)  
☎82-1621
- 【相馬地区】総務課農林係(相馬庁舎1階)  
☎84-2111

## 機械導入によるりんご剪定枝の収集と処分の省力化

りんご園における剪定作業は、樹体と収穫量を維持するために欠かせない重要な作業です。しかし、剪定後の枝の収集と処分は、労力と時間を要する大変な作業であるとともに、4月中旬から下旬にかけて始まる薬剤散布前に短時間で済ませなければならない作業です。

近年、農業分野では機械化が進み、これらの作業を効率化するための様々な機械が導入されています。海外のりんご生産現場では、トラクターに様々なアタッチメントを取り付けて作業を行っていることから、本稿では、りんご剪定枝の収集と処分について、トラクターに取り付ける剪定枝レーキと走行式粉碎機についてご紹介します。



剪定枝レーキ



走行式粉碎機(プランチシュレッダ)

(地独)青森県産業技術センターりんご研究所における機械作業の効率性調査結果から、①大枝と小枝にわけ、それぞれ人手と運搬車で剪定枝を収集するのに要した時間と、②レーキで大枝を収集後、残った小枝を粉碎機で粉碎するのに要した時間を比べると、機械での作業効率は6.8倍向上しました。ほかの調査では、除雪でのスノープロワはバケットに比べて2.8倍、肥料散布でのプロードキャスターは人手に比べて6.4倍向上しました。機械を導入することで作業効率を格段に向上できるということは、人手不足が常態化している中で、規模拡大につなげられる可能性があります。

りんご園地で機械を有効活用するためには、自分の園地に適した機械を導入し、効率化の方法を事前に検討することが重要です。さらには、作業動線が直線的になるように園地整備を進めることで、作業時間の短縮や労力の削減が期待できますので、今を機に生産性の向上と経営の効率化のため、自分の園地を最適な環境に整えてはいかがでしょうか。

- 問い合わせ先 青森県中南地域県民局地域農林水産部農業普及振興室 ☎33-2903